

県議アンケート

新田県政1年の評価(100点満点)

※「—」は無回答。敬称略

会派	人数	県議	点数	採点の理由や県政の評価
		米原 蕃	—	前向きな姿勢を評価。幹部職員や議会との信頼関係は十分でない
		鹿熊正一	70点	新しい富山県をつくらうとする姿勢は良いが、目指す方向性、具体像が見えない
		横山 栄	70点	農林水産業の振興に努めている。不要な事業はスパッと辞める決断力が欲しい
		神苗清吉	85点	今後への期待値として15点を加えた点数。議会を重視し、もっと丁寧に説明を
		五十嵐務	—	フットワークは軽い。知事の自覚を持ち、公私を区別すべき。スピード感はない
		渡辺守人	—	成長戦略に沿ってどんな政策を打ち、実現していくのか時間をかけて評価したい
		宮本光明	—	民間感覚で取り組もうとする姿勢は評価。政策が県内で共有されているか疑問
		山本 徹	60点	成長戦略でのチャレンジは評価できるが、議会との向き合い方に課題がある
		武田慎一	80点	農業政策や中山間地域対策にもスピード感を持って取り組んでいる
		笹岡貞郎	80点	鳥インフルエンザ対応や大雨被害の復旧の取り組みを評価した
		齋藤富士夫	75点	答弁が簡潔で分かりやすい一方、片仮名が多く県民には分かりづらい
		奥野詠子	—	前の県政より柔軟。今回が実質初の予算編成で、その議論を通じて評価したい
		永森直人	75点	刷新への気持ちは評価するが、具体策は新年度予算を見ないと分からないため
自 民 27		平木柳太郎	60点	及第点とした本人の自己採点と同じ。やりたいことをやれなかったのでは
		井上 学	70点	市町村との連携を重視する姿勢が見える。中山間地域対策に力を入れてほしい
		数田栄治	80点	「ウェルビーイング」は役人には思いつかない視点。まだ1年、伸びしろに期待
		山崎宗良	75点	知事選挑戦の意欲を評価。議会と協議しつつ県政を進める姿勢があってもいい
		川島 国	80点	スピード感あるコロナ対策を評価。「ウェルビーイング」向上は具体策がまだない
		酒井立志	80点	柔和な人柄が人の思いを吸収する力になっている。ワクワク感の創出は道半ば
		川上 浩	80点	大雪やコロナ感染拡大時の対策に課題。ワクワクする施策は共感でき、期待する
		八嶋浩久	89点	安定した県政継承の1年で、議会重視の姿勢を評価。危機管理には不安を感じる
		種部恭子	—	就任してまだ1年。評価する時期ではない
		藤井大輔	75点	命と安全を守る対策に全力で取り組んでいる。一方、「官から民」の形は見えず
		針山健史	—	職員の対応がスピーディーになった。行き過ぎた「民間活用の導入」には注意を
		安達孝彦	65点	思ったより「安全運転」の印象。もっとワクワクする民間発想の政策に期待
		瀬川侑希	65点	成長戦略の方向性に共感するが、もっと教育や環境施策に踏み込んでほしい
		大門良輔	70点	成長戦略など意欲的な姿勢は評価。ただ、コロナや大雪対策で課題を残した
		中川忠昭	—	成長戦略など、公約の種まきが進んでいることを評価。県民への発信力に課題
自 民 新 令 和 4		亀山 彰	83点	公約のほとんどを実行に移しており、民間活力導入の姿勢が見えるのも高評価
		沢崎 豊	—	及第点は確実。県民に寄り添う姿勢がある。県組織と県民との距離感はまだまだある
		庄司昌弘	83点	県民目線やボトムアップの姿勢を評価。職員や首長とのさらなる関係強化を
		菅沢裕明	—	コロナ対策に課題が多く、命を守る施策が求められる。現場主義の姿勢は評価
立 民 3		井加田まり	—	市町村連携などに柔軟に取り組む姿勢が見えるが、施策実現への具体策はまだ
		岡崎信也	65点	大雪など対応に遅れはあったがその後の対策は評価。カラーが出るのはこれから
共 産 2		火川弘子	—	県民に寄り添う姿勢を評価。コロナ対策は独自性が薄く、経済優先の考えは不安
		津本二三男	—	対話を尊重する姿勢に共感できる。ただ、脱炭素化などで考え方に隔りがある
公 明 1		吉田 勉	80点	危機管理にはしっかりと食らいついていた。市町村との関係に課題は残る
至 誠 1		杉本 正	81点	他人の意見によく耳を傾ける姿勢を評価。大雪対応など危機管理に課題を残した

(令和3年11月30日発行北日本新聞より抜粋)